

こんな活動です

学校を核とした地域づくりをめざして ～やまぐち型地域連携教育の実践～

山口県山陽小野田市	●活動名 竜王中学校区りゅうみんネット	●関係する学校名 山陽小野田市立竜王中学校 山陽小野田市立赤崎小学校 山陽小野田市立本山小学校 山陽小野田市立竜王中学校松原分校 山陽小野田市立赤崎小学校松原分校
-----------	------------------------	--

協働活動開始年度	平成 24 年度	関係学校数	4 校	のべ学級数	34 学級	のべ児童・生徒数	679 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		地域人材育成		外部人材を活用した教育支援活動	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		4人	
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数		延べ登録人数		188人	企業・NPO等との連携 有
参考URL	http://www.edu.cty-so.jp/ryuoh-jhs/						

●連絡先	山陽小野田市教育委員会 社会教育課	☎ 0836-82-1204
------	-------------------	----------------



●活動の概要・経緯

りゅうみんネットは、竜王中学校区の各小・中学校のコミュニティ・スクールを中核として、概ね中学校区でまとまり、地域住民や地域の関係団体、企業等を巻き込んで学校を核とした地域づくりを図るやまぐち型地域連携教育のモデル的な取組を行っている。この取組により、竜王中学校区独自のさまざまな特色ある活動が生まれ、小中連携も深まっている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①小中それぞれの学校での特徴的な取組
竜王中・・・かるた学習、競技かるた(永世クイーンを輩出、山陽小野田市の重点的取組) 赤崎小・・・木戸刈屋盆唄の継承(地域の伝統行事) 本山小・・・アサギマダラおいでませ作戦(地元の方と一緒にアサギマダラの好むヒヨドリバナの植栽や下草刈りなどを行う竜王山環境保全活動) 松原分校・・・感謝の集い(お世話になっている地域の方々へのおもてなし)
- ②小中合同の地域貢献活動
りゅうみんネットクリーン作戦の実施、地域の行事(祭り)へのステージ参加や司会
- ③地元大学、企業との連携
山口東京理科大学学生の学習支援ボランティア、りゅうみんネット懇談会の会場提供 地元企業による職場見学、職業講話、職場体験の受け入れ
- ④地域への啓発活動(りゅうみんネットカレンダーの配付)

【実施に当たっての工夫】

関係校それぞれに地域コーディネーターと校内コーディネーターを置き、相互に連携をとりながら、コミュニティ・スクールの取組である学校運営、地域貢献、学校支援活動を幅広く展開している。さらに竜王中校区としての連携を深め、地域全体で子供を見守り、育てるしくみを構築している。また、校区内の小中校長が月1回集まり、連携活動の推進に向けて協議するほか、教頭、教務主任は小中合同の行事の調整、生徒指導主任は子供たちの健全育成に向けた課題、研修主任は学力向上の課題について定期的に協議する等、小中連携を深めている。このように学校、家庭、地域を中心とする横のつながりと、小中連携を中心とする縦のつながりのバランスを図りながら、包括的、継続的な取組を推進できるようにしている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域住民や女性団体、自治会、ふるさとづくり推進協議会、さらに地元大学や企業が連携協働し、子供たちを見守り、育てる活動を幅広く推進していくことで、学校の教育活動への関心が高まり、学校支援の充実が図られている。子供たちも地域に出て多様な体験をすることで、郷土に誇りと愛着をもち、郷土を担う一員としての自覚や、勤労感、コミュニケーション能力等を高めている。高齢化や人口減少、地域の担い手の不足は、地域にとっても深刻な課題であるが、この取組を通して子供たちが地域に笑顔と活力を与え、地域が活性化すると共に、保護者や地元企業で働く人々等、いわゆる生産年齢人口も関わるしくみになりつつあり、地域の次代を担う人材育成にもつながっている。

● その他

学校、保護者、地域が一体となって地域づくりをすると共に、地域の宝物ともいえる子供を、協働して見守り、育てるため、関係者が一同に集い、子供の健全育成をテーマに、熟議をする場を設けている。



が小中合同で、保護者の清掃活動、地域住民



者中りゅうみんネット、PTA、懇談会、地域関係小